

## 令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	まるごと楽しむ下條ライフ体感プロジェクト
事業主体 (連絡先)	下條村 0260-27-2311
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,052,237 円

## 事業内容

下條村の交流人口・関係人口づくりの促進から、将来的には移住定住人口の増加を目的とし、村内に存在する「下條歌舞伎」や「カッセイカマン」、「そば」を活用した体験イベントや「自然体験」イベントなど村民主体で実施している「地域資源」の活用と連携を図り新たな都市農村交流事業を実施する。



【立命館大学生お試し住宅体験の様子】

## 【目標・ねらい】

- ①地歌舞伎・カッセイカマン体験を下條村の文化・雰囲気を感じてもらおう。
- ②お試し住宅を有効活用し都市農村交流を進める。
- ③下條村のそばを活用し体験イベントを実施。村内外の方の交流の場を作る。
- ④下條村体験の様子を撮影、動画にし移住セミナー等で下條村のPRに活用する。

## 事業効果

・伊那市在住の女性1名がカッセイカマン体験に参加。  
歌舞伎化粧講座に県外から2名飯田市から1名、阿智村から2名の参加があり、歌舞伎イベントには阿智村の小学生1名の計6名が参加。  
ガレット体験講座・そばワークショップに村外から計29名の方が参加。  
お試し住宅に立命館大学2回生10名を受け入れ。下條村の移住者、農業者へ取材や、実際の農業現場の体験の様子を撮影。  
上記イベントの実施の結果計46名の村外の方が下條村を体験。  
本事業により地域有志や団体との連携が深まり、下條歌舞伎の体験、カッセイカマンの体験、そばの体験、イベント等を下條村の体験メニューの1つとして移住希望者に紹介できる体制をつくることができた。  
移住セミナー等で、お試し住宅や移住者の実際の状況を動画で説明出来るようになり、移住者目線のリアルな下條村のPRが行えるようになった。

## ※自己評価【 C 】

## 【理由】

新型コロナウイルス感染症の影響により一部イベントが実施できなかったことや、各イベント単発への参加はあっても複合的な参加について参加者が少なくもう少し工夫が必要だと感じた。

## 今後の取り組み

歌舞伎、カッセイカマン・ガレット体験イベントは今後も継続的に行いカッセイカマン・歌舞伎演者の担い手の確保および下條村の体験イベントメニューとして進めていく。  
上記体験イベントに現在も行っている村内案内をミックスすることで移住希望者により下條村の雰囲気を体感してもらい、移住者を積極的に受け入れている村をアピールしていく。  
製作した動画については来年度の移住セミナー等で流し、学生および若者の受け入れを積極的に進めている様子をPRするとともに、関係人口・交流人口の増加を増やし、最終的に下條村への移住者増加を目指していく。